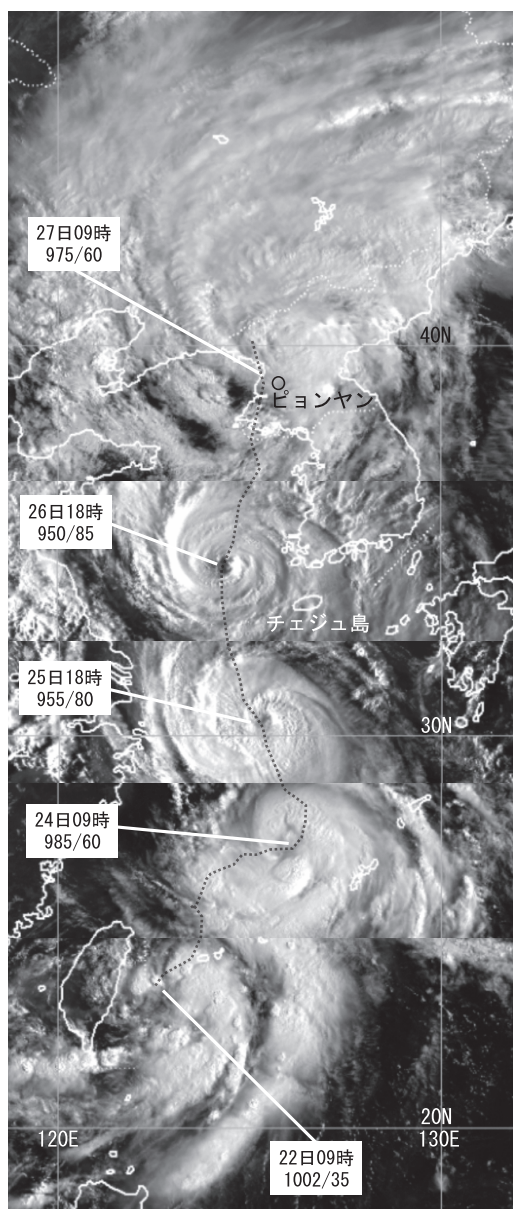


今月のひまわり画像—2020年 8 月

黄海から北朝鮮にかけて最強クラスで北上した台風第 8 号

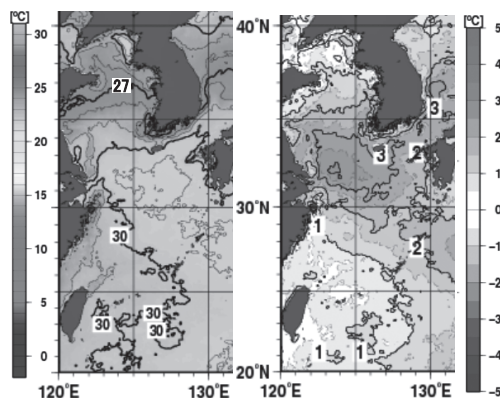


第 1 図 2020 年 8 月 22 日 09 時～27 日 09 時（日本時間）の可視画像の合成図（沖縄の南～中国東北区）。日時の下に数字は、左が台風第 8 号の中心気圧（hPa）、右が最大風速（kt）。点線は第 8 号の経路。

2020 年 8 月 22 日 09 時（日本時間）、与那国島の南で台風第 8 号が発生した（第 1 図）。第 8 号は時速 15km 以下の遅い速度で東シナ海を北上し、23 日になると台風を取り巻く雲域は次第に円形度を増し、24 日 12 時には中心気圧 975hPa、最大風速 65kt（1 kt≒0.51m/s）の強い台風にまで発達した。台風は北緯 30 度を越える頃から中心付近の積乱雲の輝度温度が低下（雲頂高度は 16km 以上）し、25 日午後には眼が形成され、同日 15 時には中心気圧 955hPa、最大風速 80kt に達した。その後も台風は北上しながら発達を続け、26 日 09 時にはチェジュ島の南西で中心気圧 950hPa、最大風速 85kt の非常に強い勢力となり、黄海の北緯 35 度付近まで台風の眼は明瞭で、同日 21 時まで非常に強い勢力を維持していた。台風第 8 号は 27 日朝には中心気圧 965hPa、最大風速 65kt の強い勢力で北朝鮮へ上陸した後、ピョンヤンの西を北上し、同日 15 時に温帯低気圧に変わった（速報解析による速報値）。

台風第 8 号は 1951 年以降、黄海を中心気圧 950hPa 以下で通過した初めての台風となった。また、北朝鮮に上陸した台風の中では最強クラス（2000 年台風第 12 号と 2019 年台風第 13 号が上陸直前の中心気圧 975hPa、最大風速 60kt）であった。北緯 30 度以北の東シナ海及び黄海の海面水温が広範囲で平年より 3℃以上高い状況（第 2 図）にあったことは、台風が記録的に発達した一因と考えられる。

（気象庁大気海洋部予報課 原 基）



第 2 図 2020 年 8 月 26 日の東シナ海及び黄海付近における海面水温(左)とその平年差(右)。